

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年12月16日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	狭山市立狭山台図書館	代表者名	吉田朋生
担当者部署	狭山市立狭山台図書館	連絡先電話番号	04-2958-3801
担当者役職	副館長	担当者氏名	登坂喜代美
住所	350-1304 埼玉県狭山市狭山台1-29-2		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山崎 博樹
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	具体的な事業計画を立てるにあたり、どこから取りかかればいいのか、わからないでしたが、経験を生かしたアドバイスをいただきました。今後、どのように行動したらよいか具体的でわかりやすい方針示していただきました。
アドバイザーへの要望事項	些細なことも含め色々とお尋ねするかと思いますが、一つ一つにご助言いただければと思います。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年12月8日	10時00分	11時30分		90
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	4人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	長期的に他事業との融合を視野に入れており、複合的・長期的視野に立った事業計画策定とロードマップ作成が課題。新規事業のため、まずは事業計画を作るうえでの注意点の洗い出しと連携先の策定や企業との協力関係の築き方などに対して課題を感じている。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	初年度の計画策定と長期的視野に立った複合事業のロードマップ作成 特に、地元企業や行政関連部署と連携・協力関係の築き方について、アドバイスいただきたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	地元企業や行政関連部署と連携・協力関係の築き方について、ビジネス系の講座とそれに続く懇親会等を開催することで関係を築くことが効果的であるなど、先事例の中で有効な手法を伺うことができた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	『本物づくりのまち狭山市』(狭山市の広報誌など)を使い、企業の展示コーナー設置に向けて連携先を探すなど、初年度の計画について、具体的な方針を定めることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	計画内容についてはまだ方針が決まった段階であり、具体的な計画の策定は次回以降に持ち越しとなった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ・オンラインミーティングであり、講演やセミナーなどは行っておらずアンケートも行っていないため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

